

しんきんアジア E T F 株式ファンド

愛称: 情熱アジア大陸

追加型投信/海外/株式

交付運用報告書

第19期(決算日2020年11月20日)

作成対象期間(2020年5月21日~2020年11月20日)

第19期末(2020年11月20日)	
基準価額	9,817円
純資産総額	1,948百万円
第19期	
騰落率	23.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんアジア E T F 株式ファンド」(愛称: 情熱アジア大陸)は2020年11月20日に第19期の決算を行いました。

当ファンドは、上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

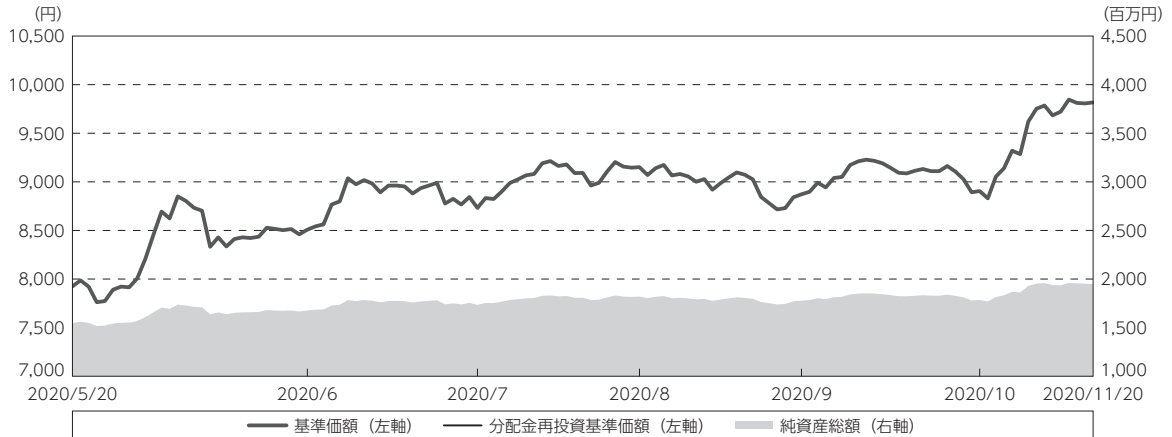
<コールセンター>  0120-781812

(土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181
(9:00~17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年5月21日～2020年11月20日)



期 首：7,925円

期 末：9,817円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：23.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、親投資信託である「しんきんアジア E T F 株式マザーファンド」を通じて、高い成長が期待されるアジア(日本を除く)各国の株式を対象とする上場投資信託(E T F)へ投資を行っています。

当期は、組み入れた E T F の値上がりを主な要因に、基準価額は上昇しました。当期の基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第18期末基準価額		7,925円	
要因	E T F	キャピタル	2,245円
		インカム	57円
	為替	△355円	
	小計	1,947円	
分配金		0円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△55円	
第19期末基準価額		9,817円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは市場変動等による E T F 価格の上下動に伴う売買損益(評価損益を含む)、インカムとは配当等による収益です。

<上昇要因>

- ・米国の大統領選挙でバイデン氏が当選を確実にしたことと米国政治の先行き不透明感が後退したこと。
- ・米国製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したこと。

<下落要因>

- ・中国政府が香港に対して「国家安全法」を採択したこと。
- ・欧米などにおいて新型コロナウイルスが感染再拡大したこと。

1万口当たりの費用細細

(2020年5月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	51	0.582	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.333)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.048	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(4)	(0.048)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	57	0.658	
期中の平均基準価額は、8,680円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

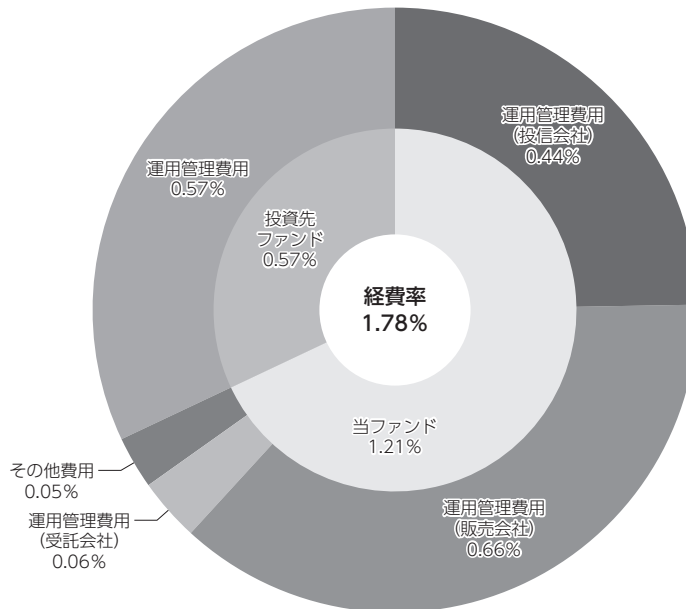
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.78%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	1.78
①当ファンドの費用の比率	1.21
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年11月20日～2020年11月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年11月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2015年11月20日 決算日	2016年11月21日 決算日	2017年11月20日 決算日	2018年11月20日 決算日	2019年11月20日 決算日	2020年11月20日 決算日
基準価額 (円)	8,635	7,819	10,000	8,939	9,462	9,817
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	60	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.4	28.7	△ 10.6	5.9	3.8
純資産総額 (百万円)	1,391	1,302	1,625	1,676	1,754	1,948

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

投資環境

(2020年5月21日～2020年11月20日)

(株式市況：アジア圏)

当期のアジア株式市場は、全体として上昇しました。

2020年5月末にかけては、新型コロナウイルスの感染第2波への警戒感や、中国政府が採択した香港に対する「国家安全法」が香港の自治を損なうとの懸念などを背景に、軟調な動きとなりました。

6月以降は、世界的な経済活動再開に伴う景気回復期待や金融緩和などに支えられたこと、トランプ政権が新たに1兆ドル規模のインフラ整備計画を検討していると伝えられ、投資家心理が改善したことなどから、上昇しました。9月以降は、欧米などにおける新型コロナウイルスの感染再拡大や、11月3日の米国の大統領選挙に関する不透明感などを背景に、下落する局面もありましたが、バイデン氏が当選を確実にしたこと米国政治の先行き不透明感が後退したことや、米国製薬大手ファイザーなどが開発する新型コロナウイルスのワクチンが高い有効性を示したことを受け、上昇基調が継続し、期を通じて上昇しました。

なお、期首から期末までの投資対象である11の国・地域別の株価の動きは、全ての国・地域において堅調となりました。

(為替市況：アジア圏)

当期のアジア通貨の対円為替相場については、全体として上昇しました。

香港ドル、ベトナムドン、インドルピーなどは軟調だったものの、世界的な経済活動再開に伴う景気回復期待や金融緩和などに支えられたことなどから、期を通じては、総じてアジア通貨高円安方向に進みました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年5月21日～2020年11月20日)

親投資信託である「しんきんアジアETF株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、期を通じて、組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきんアジアETF株式マザーファンド

中国、香港、台湾、インド、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンおよびベトナムの11の国・地域へ投資しました。各国・地域への投資割合については、株式市場の規模などを考慮して、基準割合を決定しました。

当期における11の国・地域の基準割合については、中国13%、香港13%、台湾13%、インド13%、韓国13%、シンガポール7.5%、マレーシア6.5%、インドネシア6.5%、タイ7.5%、フィリピン4%およびベトナム3%としました。

これらの基準割合に基づき、月次で投資対象国・地域の景気、市場動向および政情などの観点からの分析による見直しを行い、それぞれの国・地域の株式組入比率を基準割合から±1%程度で調整しました。

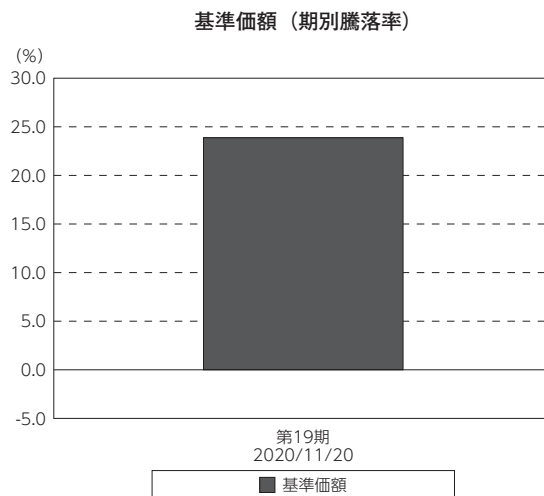
当期における国・地域の主な比率調整では、期を通じて、ベトナムの組入比率を基準割合よりも高め、香港の組入比率を基準割合よりも低めに推移させました。その他の地域の組入比率については、2020年8月にタイを引き上げ、フィリピンを引き下げ、2020年10月に中国を引き上げ、インドを引き下げるなどの調整を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年5月21日～2020年11月20日)

当ファンドは、ETFへの投資を通じてアジア（日本を除く）の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2020年5月21日～2020年11月20日)

収益分配金については、経費控除後の配当等収益や売買益、基準価額水準等を勘案した結果、当期の分配を見送りました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2020年5月21日～ 2020年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	936

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として、親投資信託である「しんきんアジア E T F 株式マザーファンド」の受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

●しんきんアジア E T F 株式マザーファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、E T F への投資を通じ、高い成長性が期待されているアジア主要市場の株式に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

また、E T F の組入比率は原則として高位を保つこととし、各 E T F の組入比率などについて、調整および変更等が必要な場合は随時行っていきます。

お知らせ

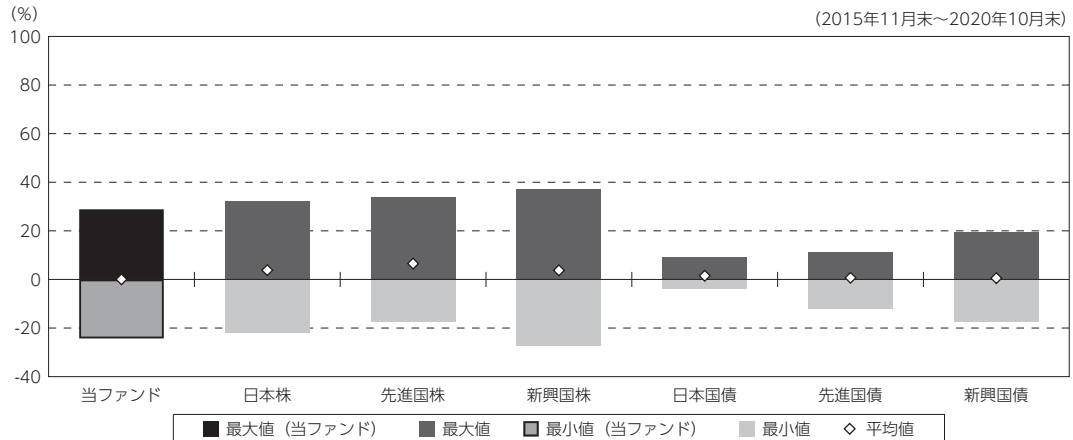
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	<p>①投資にあたっては、主として「しんきんアジア E T F 株式マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます。)の受益証券への投資を通じ、原則として以下の方針に基づき運用を行います。</p> <p>1) 国内外の金融商品取引所に上場している投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。以下「上場投資信託証券」といいます。)への投資を通じ、主にアジア各国(日本を除く)の株式に分散投資を行います。</p> <p>2) 投資対象となる上場投資信託証券の国別投資比率および銘柄選定にあたっては、市場規模、市場動向ならびに成長性、収益性、流動性等を勘案して行います。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④市場動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	上場投資信託を通じてアジア(日本を除く)の株式に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。
分配方針	<p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は委託者が基準価額等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p>

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	28.9	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 24.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.0	3.8	6.5	3.7	1.5	0.7	0.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年11月から2020年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、14ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年11月20日現在)

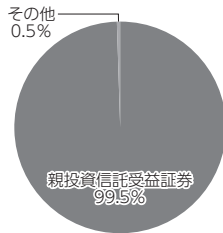
○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
しんきんアジア E T F 株式マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

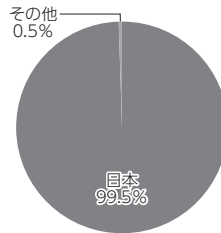
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

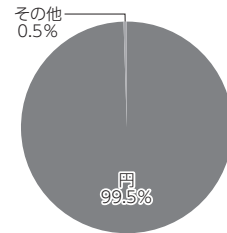
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

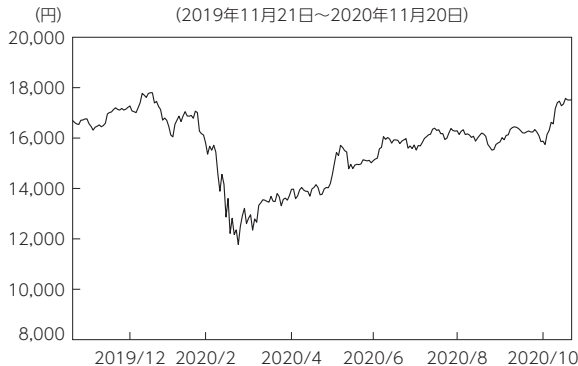
項目	第19期末
	2020年11月20日
純資産総額	1,948,105,435円
受益権総口数	1,984,365,559口
1万口当たり基準価額	9,817円

(注) 期中における追加設定元本額は102,857,254円、同解約元本額は70,788,770円です。

組入上位ファンドの概要

しんきんアジアETF株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年11月21日～2020年11月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	15 (15)	0.094 (0.094)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用)	8 (8)	0.049 (0.049)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	23	0.146

期中の平均基準価額は、15,476円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

【組入上位10銘柄】

(2020年11月20日現在)

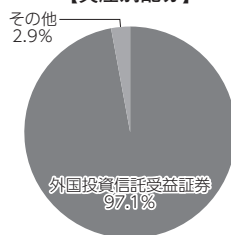
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	iShares MSCI South Korea ETF	投資信託受益証券	米ドル	韓国	12.6
2	iShares MSCI Taiwan ETF	投資信託受益証券	米ドル	台湾	12.3
3	iShares MSCI India Index ETF	投資信託受益証券	米ドル	インド	11.9
4	iShares MSCI Hong Kong ETF	投資信託受益証券	米ドル	香港	11.7
5	iShares Core CSI 300 ETF	投資信託受益証券	香港ドル	中国	7.7
6	iShares MSCI Singapore ETF	投資信託受益証券	米ドル	シンガポール	7.4
7	iShares MSCI Thailand ETF	投資信託受益証券	米ドル	タイ	7.2
8	iShares MSCI Malaysia ETF	投資信託受益証券	米ドル	マレーシア	6.2
9	Xtrackers CSI 300 Swap UCITS ETF	投資信託受益証券	香港ドル	中国	5.9
10	iShares MSCI Indonesia ETF	投資信託受益証券	米ドル	インドネシア	5.6
	組入銘柄数			13銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

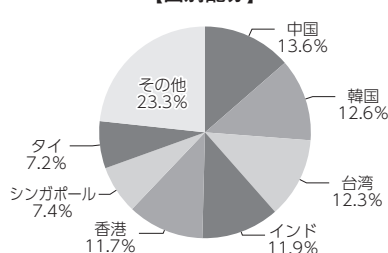
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

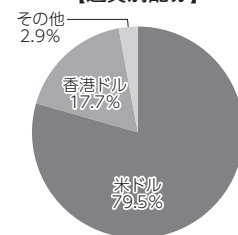
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

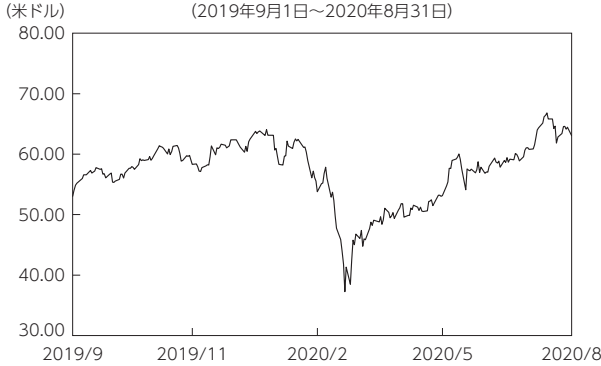
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ iShares MSCI South Korea ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2019年9月1日～2020年8月31日)



【費用比率】

(2019年9月1日～2020年8月31日)

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.59%

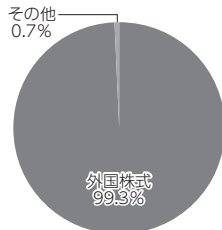
(注) エクスペンスレシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位10銘柄】

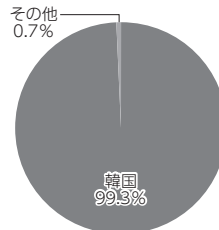
(2020年8月31日現在)

銘柄名	比率
1 SAMSUNG ELECTRONICS LTD	21.3%
2 SK HYNIX INC	4.9%
3 NAVER CORP	4.8%
4 LG CHEM LTD	4.1%
5 CELLTRION INC	3.4%
6 HYUNDAI MOTOR CO	3.3%
7 SAMSUNG SDI CO. LTD	3.1%
8 KAKAO CORP	2.7%
9 HYUNDAI MOBIS CO. LTD	1.9%
10 NCSOFT CORP	1.8%
組入銘柄数	109銘柄

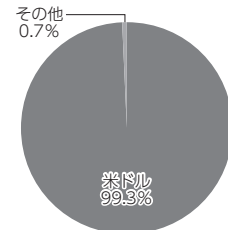
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



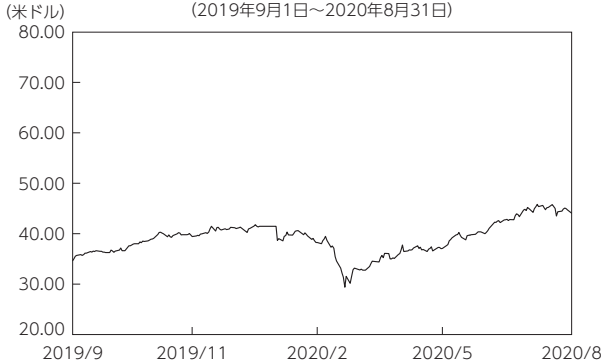
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

＜ご参考＞ iShares MSCI Taiwan ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2019年9月1日～2020年8月31日)



【費用比率】

(2019年9月1日～2020年8月31日)

項 目	比 率
エクス Pens レシオ	0.59 %

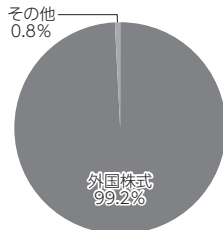
(注) エクス Pens レシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位 10 銘柄】

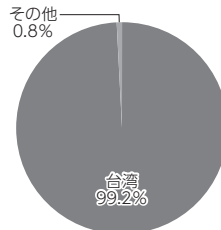
(2020年8月31日現在)

銘 柄 名	比 率
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO. LTD	22.9 %
2 HON HAI PRECISION INDUSTRY CO. LTD	4.6
3 MEDIA TEK INC	4.0
4 CHUNGHWA TELECOM CO. LTD	2.0
5 DELTA ELECTRONICS INC	1.9
6 LARGAN PRECISION CO. LTD	1.7
7 CTBC FINANCIAL HOLDING CO. LTD	1.7
8 CATHAY FINANCIAL HOLDING CO. LTD	1.6
9 UNI-PRESIDENT ENTERPRISES CORP	1.6
10 MEGA FINANCIAL HOLDING CO. LTD	1.6
組入銘柄数	89銘柄

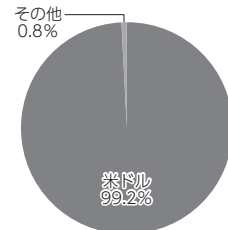
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



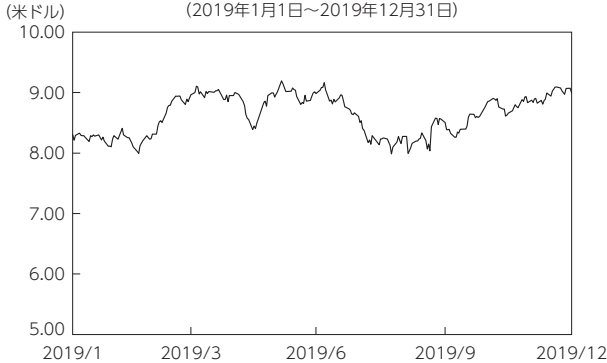
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

<ご参考> iShares MSCI India Index ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2019年1月1日～2019年12月31日)



【費用比率】

(2019年1月1日～2019年12月31日)

項 目	比 率
エクス Pens レシオ	1.00 %

(注) エクス Pens レシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

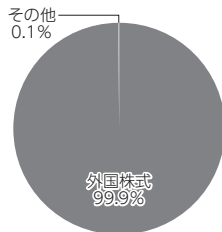
【組入上位 10 銘柄】

(2019年12月31日現在)

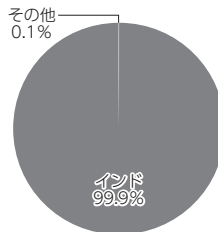
	銘 柄 名	比 率
		%
1	RELIANCE INDUSTRIES LTD	11.27
2	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION LTD	10.31
3	ICICI BANK LTD	6.72
4	INFOSYS LTD	6.50
5	TATA CONSULTANCY SERVICES LTD	5.07
6	AXIS BANK LTD	4.10
7	HINDUSTAN UNILEVER LTD	3.25
8	BHARTI AIRTEL LTD	2.44
9	ITC LTD	2.13
10	MARUTI SUZUKI INDIA LTD	2.03
	組入銘柄数	84銘柄

※上記は、iShares MSCI India Index ETFが組み入れている「iShares MSCI INDIA MAURITIUS COMPANY」の組入上位銘柄です。

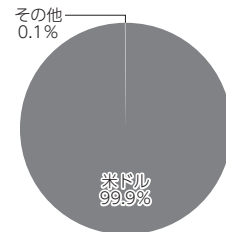
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。